

除染

美しい飯館村を取り戻すために

国による除染工程の見直しが行われました。



▲須萱地区の農地除染のようす

平成24年9月から始まった村内の除染は、二枚橋・須萱、白石、大久保・外内の3行政区で作業が進められ、前田・八和木、関根・松塚の2行政区で除染実施前の事前モニタリングが行われています。

当初、国から示された村内の除染計画では、平成24年・25年度の2年間で、長泥行政区以外の宅地・農地・宅地周辺の森林・道路について除染が進められることになっていました。

今回、除染が大幅に遅れているため、国の除染工程が見直されたものです。

9月10日、国は直轄除染の進め方について見直しを行いました。これにより、当初の予定から1年延長し、平成26年度末までに、全ての宅地及び宅地周辺の除染を行うこととなりました。

なお、農地の除染については、一部の行政区を除き、平成27年度以降になる見込みです。

国による除染工程の見直しが行われる

当初の除染計画

- 平成24年度に村の西側の行政区（草野の西側、深谷、伊丹沢、飯樋町、前田・八和木、大久保・外内、上飯樋、比曽、関根・松塚、白石、前田、二枚橋・須萱）に取り組む
- 平成25年度に村の東側の行政区（草野の東側、関沢、小宮、八木沢・芦原、大倉、佐須、宮内、蕨平）に取り組む
- 除染対象は、宅地・農地・宅地周辺の森林・道路の全部

今回の見直し

- 除染着手の二枚橋・須萱、白石、大久保・外内、発注済の前田・八和木、関根・松塚の5行政区は、平成26年度末までに宅地・農地・宅地周辺の森林・道路の全てを除染する
- 他の行政区は、宅地・宅地周辺の除染を平成26年度末までに完了させ、農地については平成27年度以降に行う
- 除染終了後、事後モニタリングを行い、新たに汚染が特定された地点や取り残しのあった地点については再除染をする（フォローアップ除染）

除染実施対象面積	約5,100ha
仮置き場	約2割 確保済 (平成25年8月30日現在)
同意取得	約3割 (平成25年7月末現在)



▲ホームインしたランナーを迎えて歓喜するベンチ



▲相手打線を抑え、攻撃に向かうバッテリー

9/14

第7回市町村対抗福島県軟式野球大会 飯館村チームは笑顔で健闘！

3年振りに全59市町村が出場した同大会。飯館村チームは初戦で郡山市チームと対戦しました。

先発小山羊平選手、5回から継投の草野隆洗選手の好投、レフト末永洋行選手のファインプレー等好守が光り、最終回を終えた時点で1対1の同点。ノーアウト満塁

から始める特別延長戦で8回表裏を闘い、4対2で惜敗しました。

飯館村の選手は互いに声を掛け合い、スタンドの声援にも手を挙げて応える等、終始試合を楽しんでいるようでした。紙一重での敗戦とはなりましたが、プレーと笑顔が輝いた好ゲームでした。

教育のページ

生涯学習係
からの
お知らせ

市町村対抗福島県軟式野球大会に出場した村のチームの活躍を紹介します。

こころのぽけっと

もし遭わなかったら・・・

避難生活も長引き、新しい生活を考え始めている方もいるでしょうが、「長いな」「参った」「早く帰りたい」との思いを強くしている方も多いことでしょう。本当に申し訳ないことです。議会、区長会、そして村民の皆さんの協力をいただきながら、村としても一生懸命取り組んでいるのですが、いかんせん相手が「放射能」であり、「国と東電の対応の悪さ・遅さ」ゆえ、現在の状況となっています。

毎日の避難生活は、人の心をなえさせ、むしろ、かつそれが体にも影響してくるという悪循環を引き起こしています。そのことを国も東電も、もっと自分のこととして捉えてくれないとやり切れないし、たまりません。

このような中、もし、少しでも自分で自分の身を守る方法があるとしたら、ささいなことでも「この災害に遭わなかったらさっとこんなことはなかっただろうな」と前向きに考えることを一つでも二つでも見つけて、ストレスを減らしていくということが大切なような気がしているところです。

例えば、避難して3回目になる敬老会には、四国は徳島から阿波踊りが来てくれました。何とも美しく素敵で、かつ面白い踊りであり、元気をもらった方も多かったことでしょう。

一方、9月中、福島県文化センターで、画家の中島潔さんの絵画展が開かれましたが、会期中に「飯館村特別鑑賞会」が行われ、中島さんご本人による作品の紹介がありました。これは、たくさん作品の中で、「飯館村」の字が入っているものが二作品あるということからでした。「一日も早く復興して欲しい」という思いを込め、「飯館村」の字を入れたということでした。

これらは、「災害に遭ったことにより起こったこと」です。当然、災害は起こらない方が良いに決まっていますが、起きてしまった以上、このような捉え方・考え方をすることで、少しでも自分の心と体の健康を保ってみたいものとの思いを強くしているところです。

平成25年9月17日

飯館村長 菅野 典雄